

公益社団法人岐阜病院 広報誌

まごころ

『まごころ』は、公益社団法人岐阜病院の広報誌です。



自閉症スペクトラム障害の二次障害とは

担当：柳澤医長

自閉症スペクトラム障害とは、対人関係が苦手・強いこだわりといった特徴を持つ発達障害の一つです(まごころ第28号の特集をご覧ください)。

乳幼児期の健診(1歳半健診・3歳時健診など)で気づかれたり、小学校入学前後に気づかれたりすることも多いですが、思春期以降、或いは就職してから気づかれることも少なくありません。近年は発達障害者支援法(平成16年成立)などの整備により、早期から発見・支援をする体制が整ってきましたが、令和の現在になっても軽度の方は見逃されたまま成人されるケースが少なくありません。それなりに社会で適応している場合には良いのですが、何らかのきっかけにより社会でうまくゆかず、結果として二次障害を発症してしまうことも多々あります。

自閉症スペクトラム障害の二次障害とは、どのようなものがあるのでしょうか?例えば小さなお子さんでは、保育園・幼稚園で他の子たちとうまくゆかず、喧嘩したり登園を渋ったりし、頭を壁に打ちつけるなどの自傷行動が現れることもあります。小学校以降では、いじめの対象になることも多くなるため、不安・抑うつが明らかとなり、不眠・食欲低下・場面緘黙・確認強迫・チックなど多彩な症状が出現してきます。自尊心が低下し、不登校から引きこもるようになったり、思春期以降にはリストカットなどの自傷行為や家族などに対する暴力が問題となることも少なくありません。学生時代までは明らかな問題が表面化していなくても、就職してから仕事がうまくこなせず、解雇・転職を繰り返し、抑うつ・不安などの症状が現れる方もおられます。

自閉症スペクトラム障害そのものの根本的な治療は確立されていません。しかしこのような二次障害は薬物治療や環境整備等により改善する可能性があります。そのためにまず必要なことは的確な診断です。生まれてから現在に至るまでの生育歴・心理検査・診察室での様子などから自閉症スペクトラム障害および二次障害の診断を行います。診断が確定したら、不眠・不安・うつ症状などに対し薬物療法も検討されます。カウンセリングの導入が考慮される時もあります。ご家族など周囲の方への説明・理解はとても大切です。種々の公的支援の利用も治療の大切な一環です。医療機関を受診することで、二次障害の改善だけではなく生活環境全般の改善に繋がることも多々あります。

自分が自閉症スペクトラムではないかと思い、当院を受診される方も増えていますが、抑うつ・不安などの症状があるのみで、自閉症スペクトラム障害には該当しない方もおられます。しかし、抑うつや不安などの症状が改善すれば受診する意義は十分にあると言えます。

自閉症スペクトラム障害と診断されても、その方の症状は十人十色、一様ではありません。社会適応が良好で医療機関受診に至らない方の場合には、「そういう性格だから」と問題視されずに済んでしまうものです。何かをきっかけに社会にうまく適応できず、二次障害を発症してしまった場合には、早めの相談・医療機関の受診が問題解決に繋がることでしょう。





オーラルフレイルとは？



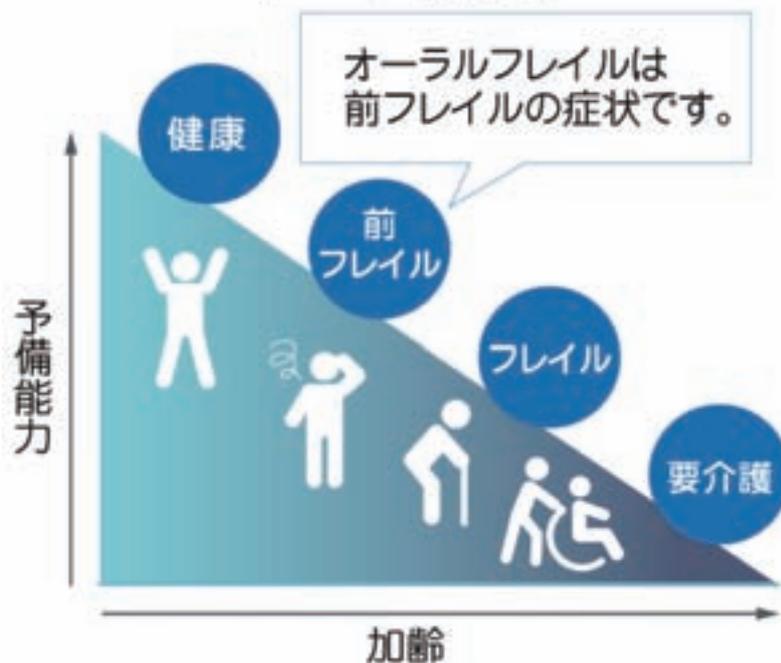
オーラルフレイルとは、オーラル(口腔)、フレイル(弱い)という語が表す通り高齢になって歯・口の機能が虚弱になることで身体の衰えの一つです。これは健康と要介護との中間に位置づけられ可逆的であることが大きな特徴の一つです。つまり早めに気づき適切な対応をすることにより健康に近づきます。

この「オーラルフレイル」の始まりは、滑舌が悪くなる、食べこぼす、わずかなむせ、噛めない食品が増える、口の乾燥などほんの些細な症状であり、見逃しやすく気が付きにくい特徴があるため注意が必要です。オーラルフレイルが改善されないと栄養障害に陥り、全身の虚弱化につながります。オーラルフレイルのある高齢者は要介護の認定リスクが2.4倍となる研究結果もあります。

バランスのよい食事を摂ること、歯と口腔の定期的な管理をすること、適度な運動をすることでオーラルフレイルを予防して健康長寿をめざしましょう。

当院歯科室では入院中の患者様、外来通院中の患者様の診療にあたっております。ご不明な点があれば歯科室スタッフまでお気軽にお問い合わせください。

「フレイル段階図」



院内の感染対策を継続しています

新型コロナウイルスの感染防止のため、

- ・マスク着用の呼びかけ
- ・手指消毒のアルコールを設置
- ・職員の体調管理
- ・正面玄関に「サーマルカメラ」を設置
(本館西出入口と東館時間外出入口は
平日施錠しています。)

サーマルカメラが高い体温を検知した場合、スタッフが対応します。再検温や問診等ご協力をお願いします。

今後も患者様の安全・安心を第一に考え、感染防止に努めて参ります。

引き続き、皆様のご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願い致します。



名鉄岐阜駅からお越しの場合

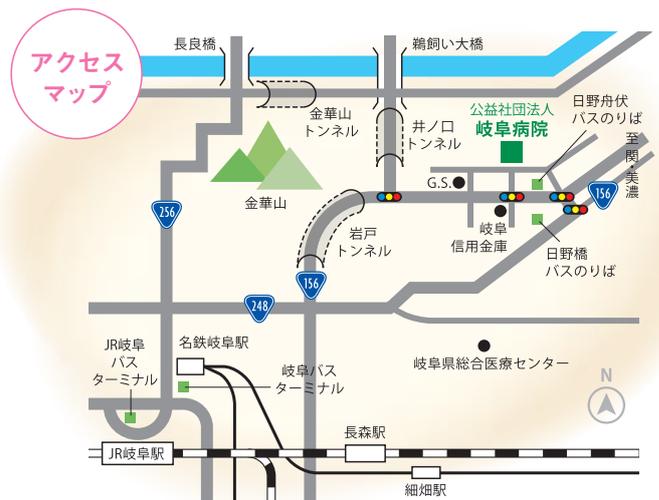
岐阜バスターミナル Dのりば乗車

- 大洞団地線・岐阜関線 19分「日野橋」下車 徒歩10分
- 日野市橋線(日野西行) 21分「日野舟伏」下車 徒歩5分

JR岐阜駅からお越しの場合

JR岐阜駅 14番のりば乗車

- 大洞団地線・岐阜関線 17分「日野橋」下車 徒歩10分
- 日野市橋線(日野西行) 19分「日野舟伏」下車 徒歩5分



外来担当表

	月	火	水	木	金
一診	淡路	石井	吉田	淡路	柳澤
二診	初診	初診	初診	初診	初診
三診	宮崎	勝	南谷	深尾(希)	勝
四診	伊藤	吉田	柳澤	南谷	伊藤
五診	平野	平野	真鍋	前田	山田
六診	前田	鈴木院長	村橋	永田	村橋
七診	安楽		山舗		
八診			坂田		
午後診療 (再診のみ) 13:00~15:00	宮崎 利重 本間	須磨			柳澤 本間

公益社団法人 岐阜病院 広報誌まごころ

令和2年 10月20日発行

〒500-8211

岐阜県岐阜市日野東3丁目13番6号

☎058-245-8171

FAX 058-246-6824

<http://www.shadan-gifu.or.jp>

初診ご予約

☎058-259-3366

予約受付時間：平日 9時～17時

※受診当日の初診ご予約は出来ません。救急時はご相談ください。

編集 後記

過ごしやすい季節になりました。これからは寒くなるにつれ、新型コロナウイルスやインフルエンザなど更に注意が必要になってきます。新しい生活様式での暮らしになりますが、皆様におかれましても体調管理に十分お気をつけて過ごして下さい。

広報委員